

八潮運輸株式会社
2024年
運輸安全マネジメント

2024.1.1

1.輸送の安全に関する基本方針

- ①八潮運輸の安全方針「安全は全てに優先する」自社の乗務員、交通パートナーが、事故により尊い命を落とす事が無いよう、怪我する事がないように「安全は全てに優先する」を励行する。
- ②輸送の安全を確保するため、安全に関する取組みを定め、PDCAマネージメントで取組みをしっかりと実施する。また、創意工夫によりPDCAサイクルがスパイラルアップするような取組みを行う。
- ③改善基準告示遵守にむけて、運行管理者・乗務員に対する教育をしっかりと行い、拘束時間管理を徹底する。
- ④輸送の安全に関する情報等については積極的に公表する。

2.安全に関する目標

	2023年		2024
	目標	成績	目標
人身事故	0件	0件	0件
労災事故	0件	0件	0件
物損事故	6件	26件	6件
無事故継続日数	150日	64日	150日
自動車事故報告規則第2条に該当する事故	0件	0件	0件

3.輸送の安全の為に過去行った取組み

項目	内容
運行管理	2006年 ドライブレコーダー 全車に装着(堀場アイテック製)アルコールチェックの完全実施(東海電子製) 2011年 デジタコ・ドラレコの更新(矢崎製 常時録画のドラレコにより事故・ヒヤリ時の映像完全抽出) 2013年 改善基準告示に即した拘束時間把握の実施 2017年 IT点呼機器を更新 2020年 乗務員による拘束時間管理表の導入 2022年 点呼システムの導入により拘束時間のリアルタイム管理 2022年 運行管理者の教育スキルの向上(外部講師によるトレーニング) <u>2023年 遠隔点呼システムの導入</u>
教育	2006年 年始に全体安全会議を開催(2011年より外部講師による安全講義も取り入れる) 2012年 年7回の乗務員教育を確立(12項目の安全教育を実施) 2017年 新人乗務員への特別教育の改変 2020年 社内運転マニュアルの整備 2021年 WEB会議システムを利用した安全会議の実施 2022年 事故報告の動画配信開始 <u>2023年 ビデオマニュアルの配信開始</u>
設備	2007年 バックアイカメラの全車装着(海コン車両を除く) 2011年 中柱一体型アオリの導入(中柱の脱着作業を無くす) 2012年 ボルボ車両のミラーステー改造(ミラーの死角事故を減らす) 2015年 ウィング車両のウィング開放インターロック装置導入(ウィングを開放したままの走行事故撲滅) 2021年 AI型ドライブレコーダーの全車導入
その他	1992年 無事故表彰制度の導入 2001年 家族参加型の無事故表彰式・懇親会の開催 2004年 グリーン経営認証 取得 2006年 安全性優良事業所(Gマーク)認定 2012年 管理者による職場パトロールの実施 2017年 車庫監視カメラ設置(不審者の侵入を防止) 2017年 始業前点検完全実施システムの導入 2020年 外部コンサルタントによる運行管理レベルアップ講習受講(全6回) 2021年 事故惹起者へのラインでの注意喚起 <u>2023年 八潮運輸 YouTubeチャンネル開設 (会社紹介 思いやり運転)</u>

4.2023年 輸送の安全に関する取組み・総括

取組み	総括
<p>①運行管理体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none">・運行管理者会議を毎月開催し、運行管理体制の強化・2024年問題に対する問題点の抽出と対応策の推進	<ul style="list-style-type: none">・取組みを継続し、拘束時間など運行管理の強化が進んだ・2024年問題対策として、拘束時間短縮化の検討を開始した。長距離運行でテスト運行なども実施し、24年問題について概ねクリアできる運行が確立されつつある
<p>②車両整備の教育</p> <ul style="list-style-type: none">・日常点検に関する教育を実施し、始業前点検を完全実施・ドライブレコーダーで始業前点検をきちんとしているか抜き打ちチェック	<ul style="list-style-type: none">・23年度のタイヤ打検未実施者は発生しなかった・タイヤトラブル含め、車両整備起因による重大トラブルは発生しなかった
<p>③輸送安全の個人指導</p> <ul style="list-style-type: none">・1回/月の個人指導を実施・AI型ドライブレコーダーの導入により、リスク運転の顕在化	<ul style="list-style-type: none">・毎月のテーマを決め、注意喚起を行ったが、資料配布のみとなった・脇見のリスク運転に関しては、発生件数の特別に高いドライバーに対する注意喚起を開始した
<p>④新人ドライバーへの指導</p> <ul style="list-style-type: none">・指導ドライバーの育成・ワンマン乗務前後のフォロー	<ul style="list-style-type: none">・教育ドライバー勉強会を定期的実施した。新人ドライバーの定着も安定してきている・社内ルールについて一時停止などの基準について検討をすすめ、決定をした。今後はビデオなどを利用してルールの周知を開始していく
<p>⑤安全パトロールの実施</p>	<ul style="list-style-type: none">・工場内のパトロールでの大きな指摘はなかった。今後も継続していく
<p>⑥安全教育の充実化</p> <ul style="list-style-type: none">・乗務員教育(安全12項目)の開催・運行管理者会議 1回/月開催・安全衛生委員会(班長会議) 1回/月開催・安全ルールおよび社内ルールの周知	<ul style="list-style-type: none">・WEB会議システムを利用した乗務員教育は、教育方法として根付いてきている。・その他の会議に関しては概ね予定どおり実施することができた・社内ルールについて一時停止などの基準について検討をすすめた。事故情報や決まったルールの周知にはビデオマニュアルを利用する運用を開始した

取組み	総括
⑥安全会議の充実化	<ul style="list-style-type: none"> ・安全指導スキル向上セミナーを継続受講した。会議内容の充実化や社内ルールの構築、マニュアル作成など、過去と比較しても管理者の能力に向上がみれてきた
⑦事故後の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・事故後の掲示については、重要度の高いものに関しては掲示だけではなく、動画による解説を作成した。また、その動画をグループラインにて公開することで、事故の情報共有がしっかりと行える取り組みを推進した
⑧改善基準告示遵守	<ul style="list-style-type: none"> ・改善基準告示遵守についてイレギュラー事案を含め、問題があった場合は運行管理者会議内で対策を立て、PDCAを回した。 ・基準違反となる運行について、原因を特定しての対策を繰り返し実施した。渋滞や待機の長時間化など特例の状況をのぞけば、ほぼ基準内の運行が確立されてきている

総括

次年度に控えた2024年の改善基準告示の改定(24年問題)に対応する運行について検討を進めた。現状分析やテスト運行を実施し、概ね24年問題については対応が可能となった

その他、乗務員教育、運行管理については継続的な取り組みを行った。社内ルールについて項目選定したものについて、ルール内容を確定させた

乗務員へのルールや情報の開示方法として、自社作成のビデオファイルを利用した配布に取り組みだした。以前の紙ベースや掲示板のみの周知と比較し、理解度を上げることが出来たと感じている。

5.2024年 輸送の安全に関する取組み

取組み	担当者・狙い
<p>①八潮運輸運転マニュアルの周知</p> <ul style="list-style-type: none">・作成されたルールを周知を実施する <p>配布予定：(1)バック走行(2)右左折時(3)障害物回避(4)一時停止(5)工場・車庫からの入退場</p> <p>ルールをビデオ化し、視覚で理解できるわかり易いマニュアル作成を進める</p>	<p>担当者：圓城</p> <ul style="list-style-type: none">・八潮運輸オリジナルルールの定着化を進める。口頭による周知で発生する「不明確な基準により、解釈が個人毎に変わってしまう」「新入社員にルールが周知されていない」「定期的なルール確認の不足」といった問題の改善を期待している
<p>②ドライバーに対する教育</p> <ul style="list-style-type: none">・運転行動を変える指導を意識した、コンテンツの充実化と指導方法を実践していく・AI型ドライブレコーダーは、改善の進まないドライバーに対し、個別の指導を継続	<p>担当者：圓城</p> <ul style="list-style-type: none">・教育者のスキルアップにより、教育内容の充実化を進める・AI型DRの運用により、リスク運転件数の削減を目指す
<p>③運行管理者のレベルアップのため、外部コンサルタントの教育を受ける</p> <ul style="list-style-type: none">・管理者自身の安全知識や指導方法のレベルアップを行う	<p>担当者：田中</p> <ul style="list-style-type: none">・管理者のレベルアップにより、安全取り組みの全体的なレベルアップを目指す
<p>④新人ドライバーへの指導強化</p> <ul style="list-style-type: none">・指導ドライバーの定期教育を実施し、現場教育のレベルをアップさせる・管理者による添乗指導を実施	<p>担当者：圓城</p> <ul style="list-style-type: none">・新人ドライバーへの教育内容を一律化することで、新人教育の効率化と内容の安定化をさせる

取組み

担当者・狙い

⑤車両整備の充実

- ・路上故障情報の収集と傾向分析を行う
- ・日常点検に関する教育を実施し、始業前点検を完全実施する
- ・タイヤ管理、トレーラー連結などルールや手順について、1回/年の定期教育を実施

担当者: 中根

- ・路上故障前に異常検知できるよう、乗務員の車両知識の向上を進める
- ・過去の重大事故をもとに作成されたルールについて定期的な教育を実施することで事故およびルールの風化を防止する

⑥運行管理関係会議の定期開催

- ・運行管理者会議を1回/月開催する
- ・安全衛生委員会(班長会議)をそれぞれ1回/月開催する

担当者: 田中

- ・運行管理者会議で運輸安全マネジメントのPDCAをしっかりと回す。またその内容をしっかりと班長に落とし、従業員の意見も取り入れる。

⑦事故後の対応

- ・事故後に速やかに事故対策会議を実施する
- ・事故報告については速やかな連絡網の構築を目指す

担当者: 中根

- ・事故後に速やかに事故対策会議を実施し、原因・再発防止策を把握し、類似事故撲滅に繋げる
- ・事故報告を速やかに周知し、早期対策に努める

⑧改善基準告示遵守

- ・新改善基準告示による運行管理を開始し、問題点についてはPDCAサイクルを回すことにより対処していく
- ・天災や事故渋滞など外部要因による

担当者: 高橋

- ・拘束時間のリアルタイムでの管理により、改善基準の完全遵守を目指す
- ・24年基準に合わせた運行に向けての準備を開始し、移行を円滑に進める準備をする

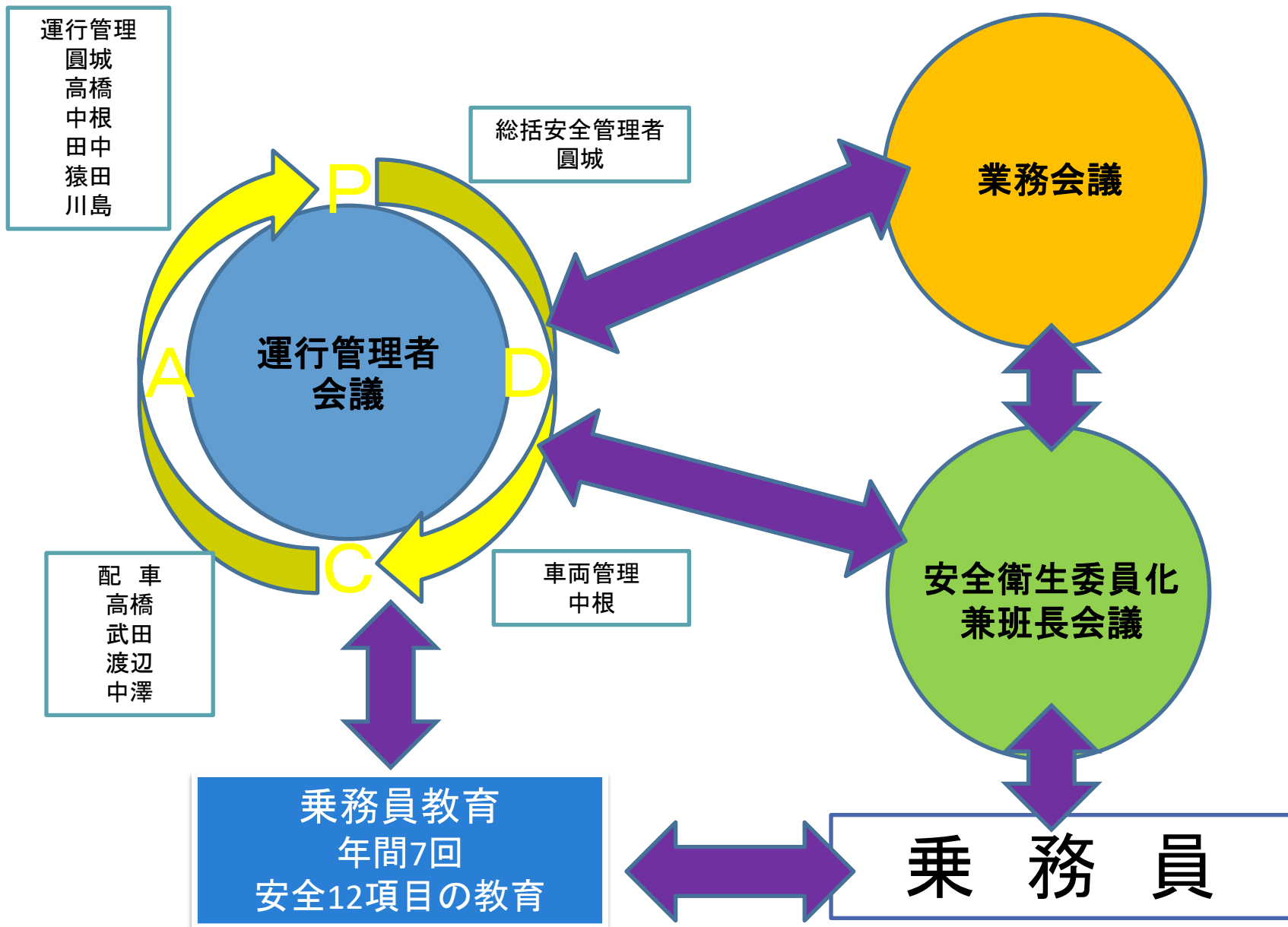
⑨YouTubeチャンネルの有効利用

- ・思いやり運転を浸透させるよう継続的に新動画をアップしていく
- ・チャンネルを利用して八潮運輸の安全取り組みを外部に発信していく

担当: 圓城

- ・外部に安全取り組みをアピールすることで、八潮運輸のイメージアップや社員の安全運転へのモチベーションを高める

6.運輸安全マネージメントの回し方



7.安全12項目の教育予定

項目		内容	実施予定												
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
①	トラックを運転する場合の心構え	貨物を安全、確実に輸送する為に、プロドライバーとしての自覚とプライドを持って業務に取り組み、万が一事故が発生した場合の影響の大きさについて理解をさせる		○ 園城											
②	トラックの運行の安全を確保する為に遵守すべき基本的事項	運転者の遵守事項 運転マナー ・交通ルール 添乗指導結果を基とした安全指導		○ 園城		○ 中根									
③	トラックの構造上の特性	トラックの構造・運転特性に潜む危険		○ 園城											
④	貨物の正しい積載方法	巻取製品の積み込み・荷降ろしの注意点 その他の貨物の注意事項・ホーム無し荷台上ジョルダー作業							◎ 園城、武田、田中、牧迫				○ 園城		
⑤	過積載の危険性	過積載の危険性について							◎ 園城、武田、田中、牧迫						
⑦	適切な運行の経路及び当該経路における道路及び交通の状況	ヒヤリ・ハット事例を活用した教育 通行経路についての指導										○ 中根			
⑧	危険の予測及び回避	KYTの実施 ～だろぅ運転を行わい ～しながら運転を行わない		△		△			△		△		△		△
⑨	運転者の運転特性に応じた安全運転	ナスバネットを受診し、各乗務員の運転行動特性について内容の指導 デジタコデータを利用した個人指導の実施	1回/月の個人指導の実施およびナスバネットの受診1回/年												
⑩	交通事故に関わる運転者の生理的及び心理的要因及びこれらへの対処方法	注意力の実態と限界 飲酒運転に関する指導 瞬間視、錯覚、幻惑に関する教育										○ 中根			
⑪	健康管理の重要性	疲労防止のための日常生活での留意事項													○ 園城
⑫	運転支援装置を使用した適切な運転方式	被害軽減ブレーキ、車線逸脱装置の機能について詳細説明 その他、安全装置(サイドカメラ等)の機能について 上記装置の正しい使い方とメンテナンス方法について				○ 中根									
荷扱い中のリフト作業について		リフトの点検及び操作手順							○ 円城、武田、田中、牧迫				○ 園城		
添乗指導からみる問題点と安全取組み		過去の添乗指導結果から自社の運転課題											○ 園城		
自社の事故分析		過去1年間の事故紹介 類似事故撲滅のための指導													○ 園城
事故事例		直近に起きた事故事例の紹介と注意喚起		○		○			○		○		○		○
添乗指導		ルールの遵守状況、安全運転状況、技術的な面の添乗指導	・初任者は入社後1人運行前に1度実施する。また1人運行開始後6ヶ月～1年以内に再度添乗指導を実施する ・その他に関しては随時実施												